

第6章 方針実現に向けた取組

本市では『大分市まちづくり自治基本条例』において、市民の幸せな暮らしの実現を目指すために市民主体によるまちづくりを行うことを自治の基本理念としています。

都市づくりは、そこに住む人、そこで働く人のためのものです。自らの生活を豊かにする都市づくりは、自らが考え、行動することが重要です。

市民が主役となる都市づくりを行うため、第5章「都市づくり方針」に沿って今後展開していく取組のイメージを示します。

1. 鶴崎駅周辺全域（共通）

【取組の概要】

- ・エリアの価値が維持向上するエリアマネジメントが必要です。
- ・防災・減災に向けた継続的な取り組みが必要です。

【取組の主体】

民間、大分市、大分県

【取組のポイント】

- ・官、民での連携が必要です。
- ・良好な環境や地域の価値の維持向上のため、土地利用やブランド力の形成、良好なコミュニティの維持向上、地域の伝統文化の継承などについて、関係機関と連携し、住民等による主体的なエリアマネジメントの充実が必要です。
- ・整備箇所周辺では、公共施設の役割の整理とともに、住宅や店舗、駐車場など、エリアの価値の維持向上に資する土地利用を促します。
- ・商店街の活性化に向け、整備と連動した取り組みが必要です。
- ・整備においては、防災面への配慮が必要です。
- ・災害の発生に備えた情報周知の徹底や防災訓練等の定期的な実施など、ソフト面における防災・減災に向けた取り組みが必要です。
- ・整備においては、デジタル化を含む次世代技術等の導入の可能性を考慮します。

※エリアマネジメントとは・・・

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み

2. 鶴崎駅前広場

【取組の概要】

- ・自家用車、バス、タクシー、自転車等の交通を安全かつ円滑にするとともに、日常の憩いやイベント等への活用を視野に入れた再整備を検討します。

【取組の主体】

大分市、大分県、JR九州、民間

【取組のポイント】

- ・誰もが使いやすい交通結節点となるように、段差の解消等のバリアフリー化を推進します。
- ・交通結節機能としてパークアンドライド等も考慮した駐車場機能を検討します。
- ・鶴崎地区の顔としてふさわしい風格ある景観を形成するため、駅前通りとの一体的なデザインの統一や、舗装やストリートファニチャーの高質化など景観面に配慮します。
- ・交通処理のためだけの広場とせず、日常の憩いやイベント時における利活用を考慮します。
- ・駐輪場利用者の利便性や歩行者等との安全性にも考慮した駐輪場の配置・形態を検討します。
- ・次世代型モビリティの導入可能性も踏まえた規模や構造を検討します。
- ・自由通路等を含めた南北市街地の連携について検討をします。
- ・整備と併せた周辺の土地利用についての検討をはたらきかけます。
- ・行政や市民、交通事業者など関係者の連携による検討体制の構築を目指します。

3. 県道鶴崎停車場線

・【取組の概要】

- ・駅前広場との一体的な利活用に向けた連携へ取り組みます。

【取組の主体】

大分県、大分市、民間

【取組のポイント】

- ・円滑な自動車・自転車交通処理に配慮しつつ、中央緑地帯を含む道路空間の再編が求められています。
- ・誰もが安心安全に移動できるウォークブルな歩行者空間の創出が求められています。
- ・駅前広場と一体的活用を考慮したデザインが求められています。
- ・整備と併せた周辺の土地利用についての検討をはたらきかけます。

4. 鶴崎市民行政センター周辺

【取組の概要】

- ・ 鶴崎公民館、鶴崎公園の再整備により、「行政と教育・文化・福祉の拠点施設」としてのリニューアルや修景整備を推進します。
- ・ 周辺施設への回遊性の向上を図ります。

【取組の主体】

大分市

【取組のポイント】

- ・ 鶴崎市民行政センター周辺整備基本計画に沿って、行政と教育・文化・福祉の拠点施設整備を行います。
- ・ 周辺施設へ回遊するための案内板や動線の整備を検討します。

5. 市道北鶴崎3号線

【取組の概要】

- ・ 鶴崎コミュニティ軸として歩行者と自動車が安全で快適に往来できる道路空間の形成に取り組みます。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・ 市道中鶴崎1号線と連携した形態を検討します。
- ・ 歩行者が安心安全に移動できる歩道整備に取り組みます。
- ・ 歩行空間の確保と自動車の安全な通行を考慮し、道路形態や通行形態を検討します。
- ・ 舗装材の選定においては、メンテナンス性にも配慮します。
- ・ 整備と併せた周辺の土地利用についての検討をはたらきかけます。

6. 市道中鶴崎1号線

【取組の概要】

- ・鶴崎コミュニティ軸として、安全で居心地の良い道路空間となるよう修景・美装化を図ります。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・市道北鶴崎3号線と連携した形態を検討します。
- ・歩行者が安心安全に移動でき、歩きたくなる形態を検討します。
- ・美装化の方法や舗装材の選定においては、メンテナンス性にも配慮します。
- ・回遊性を促すために、国道197号の拡幅を契機とした沿道低層部への賑わい形成に資する機能導入の可能性を検討します。
- ・整備と併せた周辺の土地利用についての検討をはたらきかけます。

7. 国道197号

【取組の概要】

- ・国道197号鶴崎拡幅事業の推進をはたらきかけます。
- ・国道197号の拡幅に伴った市街地形成について、民間事業者や県と連携した手法を検討します。

【取組の主体】

大分県、大分市、民間

【取組のポイント】

- ・拡幅に伴う商店街の賑わいの維持や創出に向けた取組を進めます。
- ・主要幹線沿道の土地利用には、周辺環境と利便性にも配慮が必要です。

8. 市道鶴崎・三佐線（（都）寺司三佐線）

【取組の概要】

- ・JR 日豊本線で分断されている市街地南北間の交通動線を円滑にするために、道路のアンダーパス化に向けた取組を推進します。

【取組の主体】

大分市

【取組のポイント】

- ・豪雨時の冠水の可能性など防災面に配慮しながら検討を行います。
- ・周辺施設とのアクセス性に配慮した検討を行います。

9. 県道鶴崎大南線（別保橋）

【取組の概要】

- ・ピーク時間における渋滞の緩和に向けた検討を行います。

【取組の主体】

大分県、大分市

【取組のポイント】

- ・周辺道路の整備による交通状況を踏まえ、関係機関と連携して対策の検討を行います。

10. 回遊ネットワーク

【取組の概要】

- ・神社、毛利空桑記念館など地域の歴史文化資源や公園緑地をネットワークする歩行者動線の形成を図ります。
- ・ネットワーク上の河川空間の活用を検討します。

【取組の主体】

大分市、国土交通省、民間

【取組のポイント】

- ・安心安全な歩行者動線として、バリアフリーなどに配慮します。
- ・ネットワーク上の道路の美装化や植栽の整備、誘導案内サインの設置などを検討します。

1 1. 街区公園

【取組の概要】

- ・地区内の複数の街区公園について、周辺環境や利用者特性に応じた機能の再編に取り組みます。

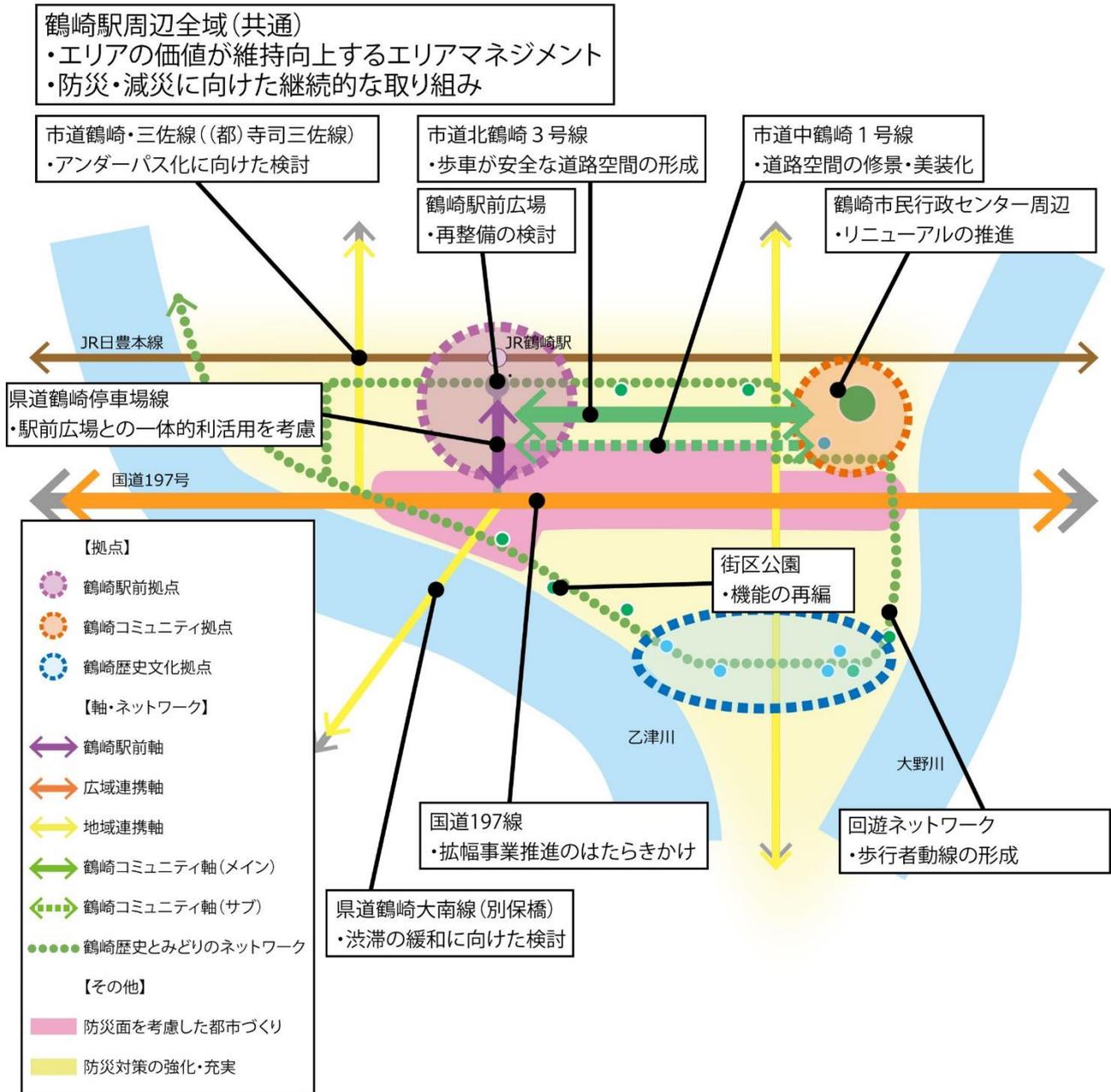
【取組の主体】

大分市、民間

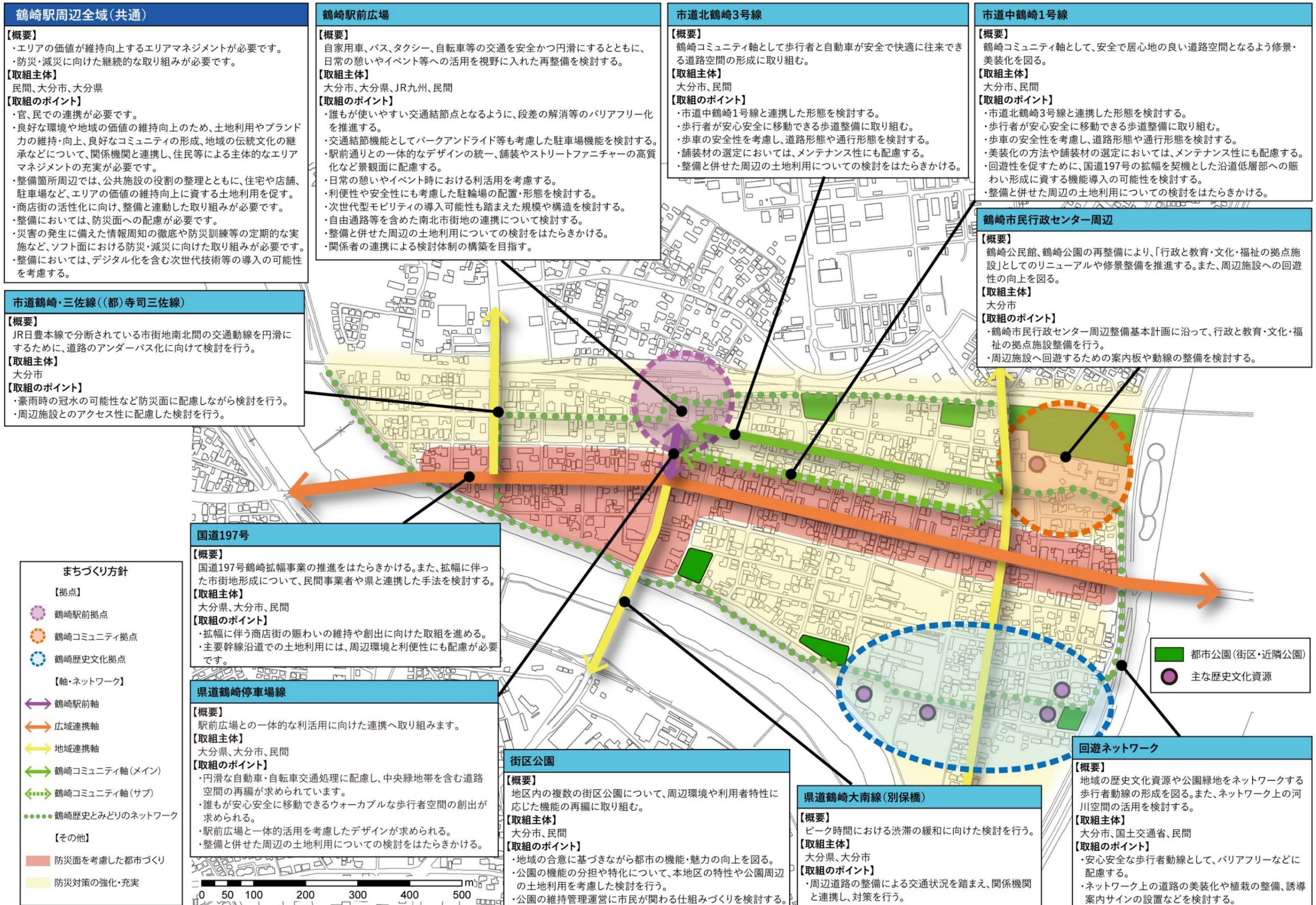
【取組のポイント】

- ・地域の合意に基づきながら都市の機能・魅力の向上を図ります。
- ・公園の機能の分担や特化について、本地区の特性や公園周辺の土地利用を考慮した検討を行います。
- ・公園の維持管理運営に市民が関わる仕組みづくりを検討します。

都市づくり方針と取組のイメージ図



都市づくり方針と取組のイメージ図〈詳細〉



1 2. 各取組の実施時期のイメージ

	取組内容	取組時期			
		短期	中期	長期	
鶴崎駅周辺全域(共通)	鶴崎駅周辺全域	エリアマネジメント、 防災・減災に向けた取り組み	[Orange bar]		
鶴崎駅前拠点	鶴崎駅前広場	JR 鶴崎駅駅前広場	[Orange bar]		
	県道鶴崎停車場線	県道鶴崎停車場線 ((都) 鶴崎駅前松岡線)	[Orange bar]		
鶴崎コミュニティ拠点	鶴崎市民行政センター周辺	鶴崎市民行政センター、 鶴崎公民館、鶴崎公園	[Orange bar]		
鶴崎コミュニティ軸	市道北鶴崎 3 号線	市道北鶴崎 3 号線 ((都) 船頭町線)	[Orange bar]		
	市道中鶴崎 1 号線	市道中鶴崎 1 号線	[Orange bar]		
広域連携軸	国道 197 号	国道 197 号沿線	[Orange bar]		
地域連携軸	市道鶴崎・三佐線 ((都) 寺司三佐線)	市道鶴崎三佐線 ((都) 寺司三佐線)	[Orange bar]		
	県道鶴崎大南線 (別保橋)	県道鶴崎大南線 ((都) 鶴崎駅前松岡線)	[Orange bar]		
鶴崎歴史と みどりのネットワーク	回遊ネットワーク	市道南鶴崎 6 号線 (空桑思索の道) 乙津川右岸緑地 など	[Orange bar]		
	街区公園	羽佐間児童公園 新堀公園 東 浦公園、岩丸児童公園、 伴出公園	[Orange bar]		